

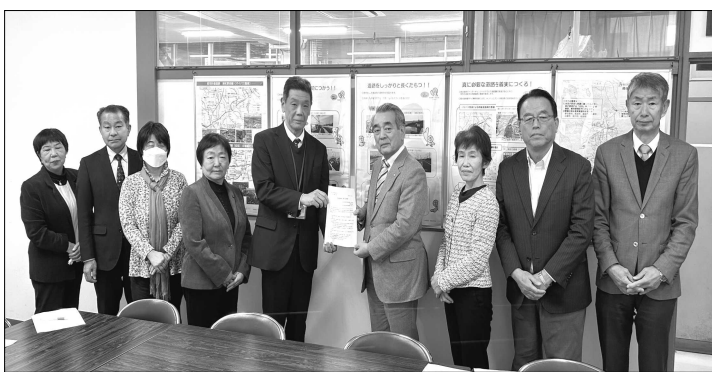
# 新春白部

発行  
日本共産党  
春日部市委員会  
春日部市粕壁東  
6丁目7-12  
電話 748-5159  
FAX 748-5179

## 安全な生活のために道路、歩道等の改善を

### 市委員会、市議団で県土整備事務所に要望書提出

1月20日(火)、春日部市委員会と市議団は、越谷県土整備事務所に「県道整備等に関する要望書」を提出し懇談



小川事務所長に要望書を手渡す参加者

### 県道整備等に関する要望書

- ①春日部松伏線の藤の牛島駅から赤沼地域までの歩道整備とガードレールの設置
- ②春日部松伏線の八幡橋歩道橋(上流側)の増設と八幡橋から一宮交差点までの歩道整備
- ③野田岩槻線の古利根橋付近、赤沼交差点付近の歩道整備と安全対策
- ④さいたま春日部線の豊春小学校付近の歩道整備
- ⑤さいたま春日部線の東武伊勢崎線から国道16号までの歩道の整備
- ⑥さいたま春日部線(公園橋通り)の生鮮市場トップから国道16号までの冠水対策
- ⑦西金野井春日部線の牛島交差点から国道16号までの道路の拡幅、歩道整備
- ⑧新川橋の架け替えにあたり、住民の意見を聞き理解と納得を
- ⑨松伏春日部関宿線の辻橋以南から三角橋までの道路改良
- ⑩春日部菖蒲線(内牧地域)の歩道整備と安全対策
- ⑪大場大枝線の早期完成(進捗状況と見通し)

●大場大枝線の工事が始まります。歩行者や自転車のみなさんのために傾斜の緩い道路を併設します。

をしました。市議団からは並木としえ、大野とし子、木下みえ子、市委員会からは、秋

●全体として、歩道整備の要望が多いが、用地買収で

●新川橋の架け替えは測量など動き出している。橋と道路の拡幅で最短10年

### 主要要望への回答

山文和市委員長、松本浩一、卯月武彦、坂巻勝則、角田妙子が参加しました。  
11項目の要望に対しての現状や対策は以下の通りです。

●赤沼交差点付近の歩道整備は地域からも要望があり、用地買収の相談を始めています。

●冠水対策は県治水事務所と連携している。側溝清掃など要望があれば行っていきたい。

<生活相談は日本共産党へ>

並木としえ TEL090-3916-0168

今尾やすのり TEL090-1032-4833

大野とし子 TEL090-7843-4945

木下みえ子 TEL050-3559-1640

日本共産党市議団ホームページ <https://www.jcp-kasukabe.jp/>



# 憲法を真ん中に 希望が持てる新しい政治を



高市首相は、1月23日の通常国会冒頭に国会を解散し、1月27日公示、2月8日投開票で衆議院選挙を実施することを発表しました。「何のための解散総選挙なのか」―物価高騰と円安で国民の暮らしも日本の経済も苦しくなるばかりです。そのうえ、この時期に解散

総選挙を行えば、新年度予算の成立が遅れ、国民生活へのさらなる影響が懸念されます。

## 大企業ばかり豊かに 国民生活は悲鳴

日本共産党国会対策委員長の塩川鉄也衆議院議員は、1月18日春日部駅西口で街頭演説をおこない、解散総選挙の真相と日本共産党の政策について、以下のように訴えました。

高市首相は「日本を強く豊かに」と主張していますが、強く豊かになったのは大企業と大金持ちばかり。国民の暮らしは強くなるどころか、円安による物価高

騰で悲鳴が上がっています。「暮らしを何とかしてほしい」「物価高騰を上回る賃上げと消費税減税を」という切実な願いを棚上げして、高市首相が「積極財政」で国債を増発してやろうとしているのは、大企業への大盤振る舞いと大軍拡。これでは国民との矛盾は深まるばかりです。

## 行き詰まり・疑惑隠し 党利党略の総選挙

一昨年の総選挙では「裏金問題」で国民の大きな批判を浴びた自民党は議席を大きく減らしました。ところが、反省するどころか企業団体献金禁止に背を向け続けています。

さらに、290人もの自民党議員が統一協会から選挙応援を受けていたことが明らかに、国会での追

及が避けられない状況です。こうした矛盾と行き詰まり、さまざまな「疑惑」から逃れるために、支持率が高いうちに選挙に打って出よう、という党利党略の解散総選挙にはなりません。

## 時給1500円以上 消費税5%減税を

日本共産党は、国民の暮らし最優先の政治に転換するために最低賃金時給1500円以上で大幅賃上げを実現します。消費税はただちに5%に減税し、廃止をめざします。

アメリカ言いなりの大軍拡をやめ、憲法9条を生かした外交の力で平和をつくります。

日本共産党の躍進で、憲法を真ん中に、希望が持てる新しい政治を実現しましょう。